

【学習会】

大型風車低周波音による健康影響を学ぶ

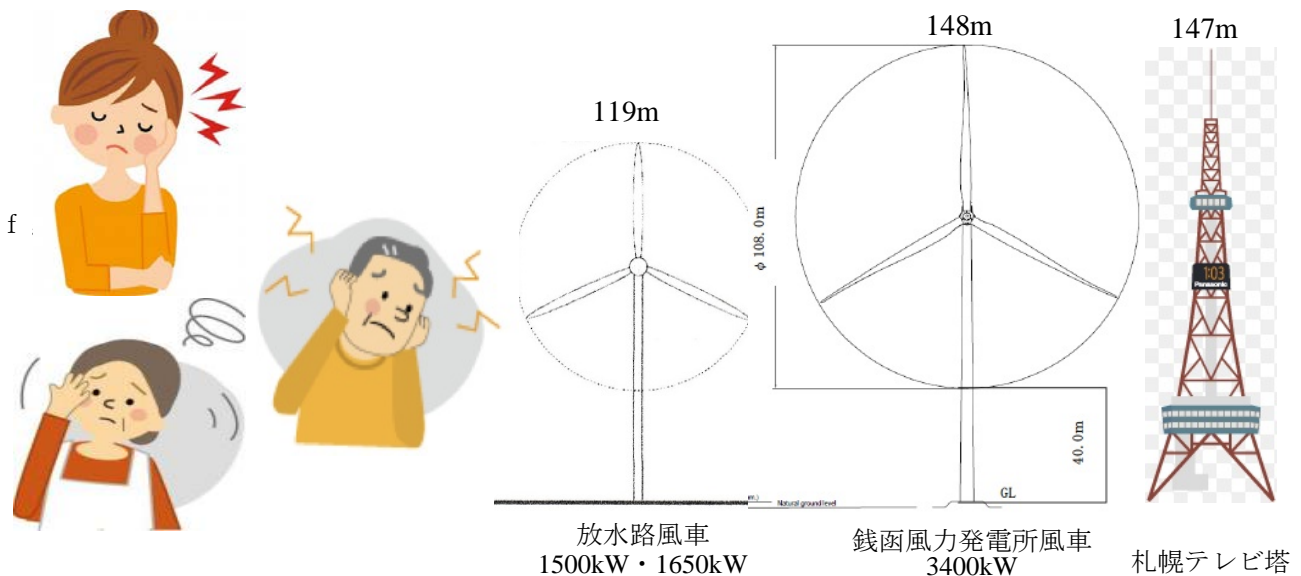
＞ 国が導入を進める再生可能エネルギーはこのままで大丈夫？固定価格買い取り制度についても探ります。

新港周辺に建設間近の大型風車20基は石狩市に何をもちたすのでしょうか？全国各地での被害例も学びます。

様々な健康被害や自然破壊が指摘されている再生可能エネルギーをこのまま進めていって大丈夫なのでしょうか？再生可能エネルギーをささえているのは私達が電気料金と一緒に徴収されている再エネ賦課金です。再エネ賦課金と固定価格買い取り制度についても学びます。

花畔に近い新港工業団地では **3200kW** の巨大風力発電機が7基、ライジングサンロックフェスティバル会場では **3300kW** の巨大風力発電機2基の工事が始まっています。新港西側の銭函海岸にも **3400kW** のものが **10** 基建設されます！羽根の直径は **108m** もあり、**148m** の高さは札幌テレビ塔と同じくらいです。

大型風力発電機から発生する低周波音は頭痛・めまい・吐き気・睡眠障害等の原因になります。被害は日本だけでなく世界（ドイツ・デンマーク・オーストラリア・カナダなど）で報告されています。建設され、稼働してしまうと、健康被害が出てでも風力発電機を止めることは困難になります。私たちは安全に暮らし働くことはできるのでしょうか？



◆日時：平成29年9月18日（月・祝）13：30～15：30

◆場所：花川北コミュニティセンター 石狩市花川北3-2

☎0133-74-6525

◆講師：安田秀子（日本自然保護協会自然観察指導員）

◆参加費：300円

主催・問い合わせ：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会 安田秀子（0133-74-6198）
ホームページ <http://windterbin.lbcc-alumni.jp/index.html>